

1 単元について

■生徒の実態

- 知的障害特別支援学校高等部就業技術科 2年 10名の学習集団である。
- 英語に対する関心が高く積極的に発言しようとする生徒がいる一方で、控え目でおとなしい性格の生徒や、英語に自信がなく消極的で声が小さい生徒もいる。
- 机の配置を変え、友達と一緒に相談しながら活動に参加できるように配慮することで、お互いに助け合いながら活動に参加することができている。

■単元設定の理由

- 「特別支援学校高等部学習指導要領」の内容の2段階「(1) 初歩的な英語を使って簡単な会話をする」に則して設定した。
- 「Who is he (she)?」「He (She) is ○○.」の表現を学習し、教師や友だちとの会話のやり取りを通して、相手に自分の考えや気持ちを伝えようとする話し手の態度や、友達の話聞き取る、理解しようとする聞き手の態度を育てたい。
- クイズやペアワークなどのグループ活動を取り入れ「英語を使って友達と関わるのが楽しい」「自分の英語が通じてうれしい」という思いをもたせ、コミュニケーションを図ろうとする素地を養いたい。

■単元で扱った題材及び学習活動
題材

題材	語彙	会話表現	場面
G 身の回りの人、物	I, You, She, He, They, friend, family, teacher	Who is she/he? - She is my mother. She is my friend. She is my teacher.	コミュニケーション時に使う語彙 家族や友達の紹介

学習活動

h	会話を使った活動など
i	・ロールプレイ(挨拶、自己紹介、買い物、食事、道案内、旅行など)
g	・ゲーム性の高い活動
	語彙(教材の活用)など
	・視聴覚教材

■目標

- キーフレーズの会話表現を理解することができる。
- 相手に伝わることを意識して、会話のやり取りをすることができる。

■指導計画

時間	学習内容・学習活動
1	1 行き先を案内しよう! ○Where do you want to go? I want to go to Tokyo Tower.
2	2 給食を楽しんでもらおう! ○How is it? It's good!
3	3 昔遊びのやり方を教えよう! ○Can you do kendama tricks? No, I can't.
4 (本時)	4 落語について説明しよう ○Who is he? He is a rakugoka.

※Welcome to Tokyo を使用しています。

2 本時について

■本時の流れ

時間(分)	主な学習活動	配慮点・留意事項等
導入 (10)	○Greeting ○Introduction ・「今日の内容」の説明を聞く。	・不明な点がないか生徒に質問を投げかけて確認する。
展開 (30)	○New Words ・Listen and Repeat ○DVD「Welcome to Tokyo(Elementary)」 「落語について説明しよう」 ・DVDを見ながらクイズの答えを教科書に記入する。 ○Key Sentence ・Listen and Repeat ○Quiz ・生徒にとって身近な学年教員やキャラクター、外国の人物等の写真を見て、それが誰なのかを当て、教師と「Who is he (she)?」「He (She) is ○○.」の会話のやり取りをする。 ○Pair Work ・自分で持参した写真(家族の写真や卒業アルバム等)を友達と見せ合いながら「Who is he (she)?」「He (She) is ○○.」の会話のやり取りをする。	・一人ずつ発音させ、正しく発音ができているかを確認する。 ・机間指導を行い、クイズのやり方や内容を理解できているか確認する。 ・表現に慣れるように声に出して繰り返し練習させる。 ・少しずつヒントを与え生徒との会話のやり取りを多く行うようにする。 ・生徒一人一人と会話のやり取りを行い、正しい発音ができているか、意味が理解できているか確認する。 ・机間指導を行い、会話のやり取りができているかを確認する。正しい発音できていない場合は、教師と一緒に発音するなど個別に支援する。
まとめ (10)	○Feedback ・ペアワークを通して友達について分かったことを発表する。 ○Worksheet ・ワークシートに記入を行い、本時の学習内容を振り返る。 ○Greeting	・前向きな言葉掛けを行い、発表しやすい雰囲気を作る。 ・机間指導を行い、正しく理解できているかを確認する。理解できていない場合には、ヒントを与えて支援する。

■活用した教材等

- 「Welcome to Tokyo(Elementary)」, 副教材に付属している DVD やオリジナルに作成したスライド(クイズ)などの視聴覚教材
- 実物の外国の紙幣、日本の紙幣、歴史上の外国の人物の写真や絵
- 生徒の身近な友達や家族など、生徒自らが持参した実際の写真

卒業アルバムや写真を使ったペア活動



クイズ キャラクター
Who is he? He is ~.



3 まとめ

■生徒の変容

- DVDの視聴やスライドのクイズを通して教師と「Who is he (she)?」「He (She) is ○○.」の会話(音声)のやり取りを繰り返し行うことで、表現の意味を理解し、自信をもって友達と「Who is he (she)?」「He (She) is ○○.」の会話のやり取りをすることができた。
- 生徒にとって身近な教師やキャラクターをクイズの問題として出題することで、最後まで興味・関心をもって活動に参加することができた。
- 自分で持参した卒業アルバムや写真を用いることで、「自分のことを他者に伝えたい」「自分の友達を紹介したい」など主体的に友達との会話のやり取りをすることができた。
- 覚えた英語表現を実際に現場実習で一緒に働いていた外国人の方との会話に用い、「将来は外国人の方と一緒にチームで働いてみたい」という感想をもつ生徒もいた。